

平成29年度 相生学院高等学校 学校評価結果

構造改革特別区域法等の基準により相生市が設置の認可を行った相生学院高等学校について、平成29年度の学校運営全般の状況を同校から提出された資料、現場の視察、相生市教育特区学校設置審議会の意見等を参考に市として評価を行いましたので、その結果を次のとおり公表いたします。

		評 価 の 視 点	評 価	評 価 コ メ ン ト
評 価 項 目	各教科の状況	授業の状況 特別支援教育の状況 進路指導の状況	良い	<p>現実問題として学校に在籍する生徒の中には特別な支援を必要とする生徒も多くいると思われるので各生徒に対してきめ細かい指導を行い、その生徒への関わり方が教員によって変わることがないように、当該生徒の状況及び指導状況について記した個別の支援計画を作成していただきたい。</p> <p>また、今後は各生徒個々に応じた配慮と支援を行う等、学習環境の整備と工夫をしていただきたい。</p> <p>さらに、校舎のバリアフリー化については、整備に向けて早急に検討いただきたい。</p>
	生徒の状況	生徒の人格的発達の状況 生徒指導等の状況 安全管理の状況 学校に対する生徒・保護者の意見・要望等の状況	おおむね満足	<p>基礎学力が身につけていない生徒たちに対し、寄り添い、能力を引き上げる指導を重ねることで生徒たちが自己肯定感を持つことができるように努めていただきたい。</p> <p>安全管理の状況について、緊急事態発生時において学校が組織的に行動できるよう、危機管理マニュアルの作成を行い、学校要覧等にも掲載していただきたい。また、避難訓練について、特に市外からの生徒も多いため、教職員のみで避難訓練を行うのではなく、生徒を含めた避難訓練を行っていただきたい。</p>

評価項目				生徒の様子について、スクーリング時には、生徒が自発的に挨拶をする姿が見られ、学校生活に意欲的に取り組んでいる様子に好感を持った。
	学校管理運営の状況	組織運営等の状況 教育目標と学校評価の状況 設置者と学校の取組状況	良い	校務分掌については、校務運営委員会やいじめ防止対策委員会などが明文化されるなど、改善が見られた。引き続き組織及び生活環境の充実に努めていただきたい。 また、施設の改修も含め、学校設備の充実等、生徒、保護者及び地域の方が魅力的だと思える学校作りに努めていただきたい。
	学校・家庭・地域の連携協力の状況	学校に関する情報公開の状況 学校と保護者・地域住民等との連携協力の状況	おおむね満足	学校が特色の一つとして挙げているパソコンやドローンの知識、技術等を活用し、市内の小学校、中学校の授業に参加したり、授業を公開する機会を作る等、地域との連携の方法について検討していただきたい。 また、学校評価の本義に則って生徒・保護者へのアンケートの実施や関係者評価を実施することにより、学校運営の改善に努めていただきたい。
	学校設置による効果	学校が設置されたことによる経済効果	おおむね満足	グラウンドを地域住民に開放する機会を設定するなど、地域住民との交流の場としての取り組みは評価できる。 今後は、学校の取り組み等を地域に向けて情報発信をしたり、学校と地域住民が意見を交わす場を設ける等、市民との関係を深める取り組みについて、無理のない範囲で交流の方法を考えていただきたい。また、近くの住民に向けてだけでなく、相生市全体に相生学院の名前を広める取り組みを検討していただきたい。
	市との連携協力の状況	市への現状報告及びセーフティネット対策の状況	おおむね満足	相生市との連携については、学校側から定期的に現状報告されており、連携協力体制は確立されていると思われる。

総括・課題	<p>相生市教育特区学校設置審議会での指導事項は解決に向けての取り組みがみられ、組織としての学校づくりが行われつつある点は評価できる。</p> <p>今後は、関係者評価等の実施及び公開を含め、積極的な情報発信を行うことによって開かれた学校として取り組んでいくとともに、組織としてさらなる発展と充実した学校運営を目指していただきたい。</p>
-------	--

評価項目については、「優れている」、「良い」、「おおむね満足」、「要改善」、「注意」の基準で評価しています。